

第2回 ファブ地球社会 創造的生活者 シンポジウム

「いま、わたしたちに必要な オープンイノベーションとは」

登壇者(予定) 招待講演



ジュリア・カシム
(京都工芸繊維大学)



エイドリアン・ポイヤー
(RepRap Ltd)



マイケル・ワインバーグ
(Shapeways, Inc.)

研究報告・ディスカッション



松原健二
(株式会社 ロングフェロー
/COIプロジェクトリーダー)



村井純
(慶應義塾大学
/COI研究リーダー)



長田典子
(関西学院大学)



荒川薫
(明治大学)



江渡浩一郎
(産業技術総合研究所)



古川英光
(山形大学)



田中浩也
(慶應義塾大学)



小林茂
(情報科学芸術大学院大学)



渡辺智暁
(慶應義塾大学)

開催趣旨

社会の成熟化や高齢化に伴い、生活者ニーズの多様化が進んでいる現在の日本社会においては、要望にきめ細かく即時的に対応できる「デジタルものづくり」の活用や、ネットワークを通じたものづくり設計図の共有、共通の課題解決を指向するコミュニティの醸成について広く考えていく必要があります。

本シンポジウムでは、デジタルものづくり分野における人々の感性の発揮や、多様な現場への3Dプリンタの導入、産業と文化を越境した「ものづくりコミュニティ」の登場などをテーマとしながら、市民・大学・企業・政府にとっての今後の取り組みについて論じます。

人間の感性に関する新たな知見、デジタルものづくりの未来形、新たなコミュニティから生まれる共創(コ・クリエーション)価値に関心をお持ちのみなさまの幅広い参加をお待ちしています。

プログラム概要

13:00 開演
13:30-14:30 第I部 インクルーシブ・デザイン/感性とデザイン
14:40-15:40 第II部 3D プリンタのオープンソース展開
16:50-17:30 第III部 知的財産権とビジネスモデル

詳細はイベント案内ウェブページ <http://coi.sfc.keio.ac.jp/coi/event/> をご参照ください。

開催概要

主催 感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点(文部科学省Center of Innovationプログラム)

日時 2016年3月5日(土) | 10:00-12:00(研究展示) | 13:00-17:30(シンポジウム)

場所 慶應義塾大学三田キャンパス、西館

参加 参加費無料 | オンラインによる事前登録制
(事前登録者には同時通訳レシーバーを配布) ※当日参加も可能です。

問い合わせ先

ファブ地球社会創造拠点研究推進機構
fabearth@sfc.keio.ac.jp



ファブ地球社会創造拠点

